



# こちら

# 悩み即解!

# Excel相談室

## 第2回

### 個人にもチームにも役立つ 業務プログラムの作りかた伝授

牧村 あきこ  
MAKIMURA, Akiko  
Office Makimura  
<http://www.makim.net/>

## 複数の条件に該当する データを抽出する

仕事でExcelを使っていると、データを検索/抽出する機会が少なからずあるはずですが、シートにためたデータから、簡単な操作で検索/抽出ができることがExcelの魅力です。今回は、Excelを使ったデータ検索について悩みを持つ方からの相談です。

Level				
1	2	3	4	5

Technology Tools
<input type="checkbox"/> Visual Basic
<input type="checkbox"/> Visual C#
<input type="checkbox"/> Visual C++
<input type="checkbox"/> SQL Server
<input type="checkbox"/> Oracle
<input type="checkbox"/> Access
<input type="checkbox"/> ASP.NET
<input checked="" type="checkbox"/> Other: Excel 2000/2002/2003

Samples
・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、 <a href="http://www.shoeisha.com/mag/windev/">http://www.shoeisha.com/mag/windev/</a> からダウンロード可能です。

### 今月の悩み マーケティング部門で働く 由美子さんの場合

仕事柄、毎日のように、さまざまな種類のデータの集計や条件抽出、そしてそれをもとにした傾向分析を行なっています。オンラインのアンケートデータなど、扱うデータ件数は数百件程度のものが多いので、もっぱらExcelのワークシートにデータをストックし、データベース機能を用いて処理しています。

私の業務の中で特に頻繁に起こるのが、複数のOR条件のデータを取り出す作業です。たとえば、アンケートデータの中から複数の職業に該当する人を抽出したり、顧客データの中から特定の電話番号を複数持つデータを探すといった具合です。そのつどフィルタオプションの設定を使えば対応可能ですが、どうも面倒です。もっと汎用的に処理したいのですが……。

### 悩みを 整理してみよう

今回の悩みをはっきりさせるために、具体的に説明しましょう。由美子さんは、ワークシートにストックされたリスト形式の顧客データのなかから、特定の電話番号や携帯番号リストをもとに、それぞれ該当するデータを取り出すとい

った業務を行なっています(図1)。もともとなるデータから抽出する条件項目は特に決まっておらず、単一のフィールドに対して複数のOR条件で処理しています。

実際にこのような処理は、「フィルタオプションの設定」を使うことで解決できます。前号では重複するデータを取り除く処理に「フィルタオプションの設定」を利用し

図1：処理したい内容を確認する

no	姓名	姓名ヨミ	職業	〒	住所	電話番号	携帯番号
1	鈴木 孝子	スズキ タカコ	主婦	132-0001	東京都江戸川区新堀0000	03-5555-****	090-1234-****
2	田中 裕子	タナカ ユウコ	自営業	150-0002	東京都渋谷区渋谷39876	03-4556-****	090-8667-****
3	高橋 啓子	タカハシ ケイコ	会社員	106-6182	東京都港区六本木9-1-5	03-2557-****	090-1236-****
4	佐藤 敦美	サトウ アツミ	その他	107-0062	東京都港区南青山6999	03-2558-****	080-1237-****
5	田中 裕子	タナカ ユウコ	主婦	152-0035	東京都目黒区自由が丘35-1	03-1559-****	090-8238-****
6	田中 典理	タナカ ノリ	主婦	152-0035	東京都目黒区自由が丘35-1	03-5601-****	090-1239-****
7	渡辺 美智	ワタナベ ミチ	会社員	109-0014	東京都港区芝4-90	03-4392-****	090-5020-****
8	遠藤 雄	エドワード ムサシ	自営業	150-0042	東京都渋谷区宇田川1000	03-1438-****	090-1241-****
9	高木 由美	タカキ ユミ	専門職	170-0022	東京都豊島区南池袋25555	03-5439-****	090-1982-****
10	小林 ルミ	コバヤシ ルミ	会社員	105-0004	東京都港区新橋123456	03-3440-****	090-3643-****

ましたが、この機能は、本来オートフィルタ、すなわち AutoFilter メソッドで処理しきれない複雑なデータ抽出を行なうためのものです。もちろん、手作業でも処理は可能なのですが、このような作業が何パターンも頻繁に発生するようであれば、何かと面倒に感じるでしょう (図2)。

そこで今回は、できるだけ汎用的に、かつ、実際にデータをコピーしたりシートに手を加えずに目的のデータ抽出を行なえるように、ユーザーフォームを活用したプログラムを作成することにしましょう (図3)。

## サンプルデータの確認

それでは早速、フィルタオプションの設定を利用してデータ抽出を行なうプログラムを解説してゆきましょう。サンプルファイル「list\_2005\_06.xls」には、検索対象となるデータが入力された「master」シートと、検索条件を入力した「data」シートがあります。なお、シートのどの位置に条件を入力していてもかまいませんが、必ず連続したセル範囲に条件が入力されているものとします

図2：「フィルタオプションの設定」の基本的な利用法

抽出先によって、検索対象となるデータにフィルタがかかって結果を表示するか、もしくは他の別の場所に抽出結果がコピーされる

図3：専用のユーザーフォームから検索条件を指定

図4：任意のシートに入力した検索条件

(図4)。

Excelのメニューから [ツール] - [マクロ] - [Visual Basic Editor] を選択して、Visual Basic Editor (以下 VBE) を起動します。VBE ウィンドウ内の「Module1」モジュールには、本メインプログラムの「SearchData」プロシージャのコード (記事末リスト1) が収められています。この後、解説してゆくその他のプロシージャと合わせて、本稿の最終ページに、関連するすべてのプロ